



# 青森県弘前市 SDGs未来都市の取組

令和5年度の取組結果と令和6年度の取組について

令和6年7月

企画部企画課 総合計画・SDGs推進担当

## 1

## 令和5年5月に「SDGs未来都市」「自治体SDGsモデル事業」に選定

区別	項目	内容
SDGs未来都市	選定趣旨	経済・社会・環境の三側面の統合的取組による相乗効果、新しい価値の創出を通して、 <b>持続可能な開発を実現するポテンシャルが高い都市・地域が選定</b> されます。
	選定数	全国から <b>毎年30都市</b> 程度が選定されます。
	予算上のメリット	デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）の申請事業数上限の枠外として、1事業の追加が可能となります。
自治体SDGsモデル事業	選定趣旨	SDGs未来都市に選定された都市のうち、多様なステークホルダーとの連携を通し、地域における自律的好循環の形成が見込める、 <b>特に先導的な事業が選定</b> されます。
	選定数	<b>SDGs未来都市の中から10都市が選定</b> されます。
	予算上のメリット	以下の①・②が交付されます。 ①全体マネジメント・普及啓発等経費として1,500万円（定額） ②事業実施経費として1,000万円（補助率1/2）



# 3

## 令和5年度の主な取組と三側面の指標【経済面】

### 自治体SDGsモデル事業【経済面の取組】



「りんごDX」の導入

「省力樹形栽培」の普及展開



「機能性表示食品」としての販売



海外への販路拡大の強化

### 効果

経済	<b>高品質りんごを安定生産し、販売額を増やします。</b>		
	行政、生産者、研究機関等との連携事業数	15件	→ 19件
	機能性表示食品制度りんご生果届出数	2件 (2023年2月)	→ 5件 (2025年)

### 三側面をつなぐ相乗効果

社会	<b>作業改善等に意欲的な生産者を増やします。</b>		
	農業塾に参加し作業改善に取り組む生産者数	0人(未実施) (2023年2月)	→ 60人 (2025年)

環境	<b>農薬や肥料の使用を低減します。</b>		
	青森県特別栽培農産物認証生産者数	22者 (2023年2月)	→ 25者 (2025年)

### Point

先端技術の導入による**農業生産性の向上**と、販路拡大による**農業所得の向上**を目指します。

## 令和5年度の主な取組結果（一例）【経済面】

## 自治体SDGsモデル事業【経済面の取組】

統合的取組



「りんごDX」の導入

「省力樹形栽培」の普及展開



「機能性表示食品」としての販売



海外への販路拡大の強化



## 自治体SDGsモデル事業【経済面の取組結果（一例）】

統合的取組



「りんごDX」の導入

- デジタル技術を活用し、高品質なりんごを安定的に生産
- デジタル技術を活用し、いつでも生産技術を学べる体制を構築

↓

先端技術の導入による農業生産性の向上と、販路拡大による農業所得の向上を目指す。

【R5実施内容と結果】

- ・VR剪定学習支援システムは、学習体系の構築に向けて、VR剪定学習講習会を実施。（講習会2回、活用検討会1回）
- ・適正着果量を判断するAIシステムは、精度向上に向けた画像データの拡充等を実施。



# 5

## 三側面の指標 初年度実績【経済面】

### 自治体SDGsモデル事業【経済面の取組】



「りんごDX」の導入

「省力樹形栽培」の普及展開



「機能性表示食品」としての販売



海外への販路拡大の強化

### 効果

**高品質りんごを安定生産し、販売額を増やします。**

経済

行政、生産者、研究機関等との連携事業数	15件 → <b>20件</b> → 件 → 19件
機能性表示食品制度りんご生果届出数	2件 → <b>5件</b> → 件 → 5件
	(2023実績) (2024) (2025目標値)

### 三側面をつなぐ相乗効果

**作業改善等に意欲的な生産者を増やします。**

社会

農業塾に参加し作業改善に取り組む生産者数	0人 → <b>57人</b> → 人 → 60人
	(2023実績) (2024) (2025目標値)

**農薬や肥料の使用を低減します。**

環境

青森県特別栽培農産物認証生産者数	22者 → <b>21者</b> → 者 → 25者
	(2023実績) (2024) (2025目標値)

## 令和5年度の主な取組と三側面の指標【社会面】

### 自治体SDGsモデル事業【社会面の取組】

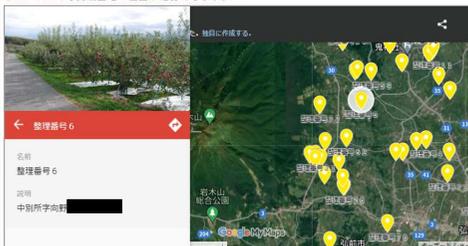
#### 統合的取組



#### 「トヨタ式カイゼン」の導入

#### 階層別のりんご生産者の育成

下のマップでも掲載園地の位置が確認できます。



#### マッチングシステムによる園地継承



#### りんご生産者の健康増進

### 効果

社会

省力化や生産性を向上し、担い手を増やします。

農業塾に参加し作業改善  
に取り組む生産者数  
園地継承円滑化システム  
のマッチング成立件数

0人(未実施) → 60人  
26件 → 116件  
(2023年2月) (2025年)

### 三側面をつなぐ相乗効果

経済

現場改善により生産コストを削減し、  
収益性を向上させます。

5年前より農業所得が向上  
した認定農業者の割合

59.3% → 64.0%  
(2021年度) (2025年)

環境

環境に優しい農業に取り組む農家を増やします。

青森県特別栽培  
農産物認証生産者数

22者 → 25者  
(2021年度) (2025年)

### Point

次世代を担う意欲ある新たな担い手が地域で持続的に育成される体制を構築します。

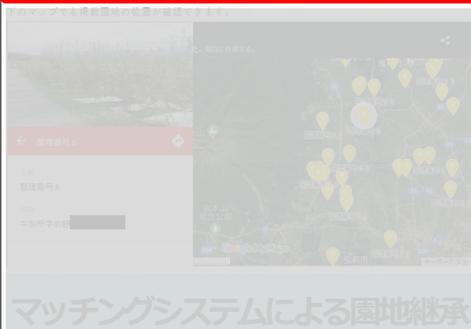
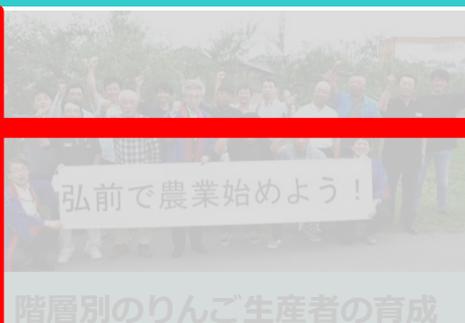
## 令和5年度の主な取組結果（一例）【社会面】

## 自治体SDGsモデル事業【社会面の取組】

## 統合的取組



## 「トヨタ式カイゼン」の導入



## 自治体SDGsモデル事業【社会面の取組結果（一例）】

## 統合的取組



## 「トヨタ式カイゼン」の導入

- 作業を省力化し、誰もが働きやすい環境を整備する。
- 作業効率を改善し、生産性を向上させる。



次世代を担う意欲ある新たな担い手が地域で持続的に育成される体制を構築する。

## 【R5実施内容と結果】

- ・JAつがる弘前や民間の選果場で、トヨタ式カイゼン手法の導入に向けた現地調査により、現場の課題及び同手法を用いた課題解決策の洗い出しを実施。
- ・農業生産現場での生産性向上のため、営農指導員向け研修会及び生産者向け農業塾を開催。  
(営農指導員向け研修会2回、農業塾2回)



# 8

## 三側面の指標 初年度実績【社会面】

### 自治体SDGsモデル事業【社会面の取組】

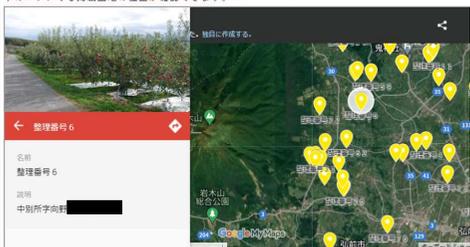
#### 統合的取組



#### 「トヨタ式カイゼン」の導入

#### 階層別のりんご生産者の育成

下のマップでも掲載園地の位置が確認できます。



#### マッチングシステムによる園地継承

#### りんご生産者の健康増進

### 効果

#### 社会

省力化や生産性を向上し、担い手を増やします。

農業塾に参加し作業改善  
に取り組む生産者数  
園地継承円滑化システム  
のマッチング成立件数

0人 → **57人** → 人 → 60人

26件 → **125件** → 人 → 116人

(2023実績) (2024) (2025目標値)

### 三側面をつなぐ相乗効果

#### 経済

現場改善により生産コストを削減し、収益性を  
向上させます。

5年前より農業所得が向上  
した認定農業者の割合

59.3% → **56.0%** → % → 64.0%

(2023実績) (2024) (2025目標値)

#### 環境

環境に優しい農業に取り組む農家を増やします。

青森県特別栽培  
農産物認証生産者数

22者 → **21者** → 者 → 25者

(2023実績) (2024) (2025目標値)

## 令和5年度の主な取組と三側面の指標【環境面】

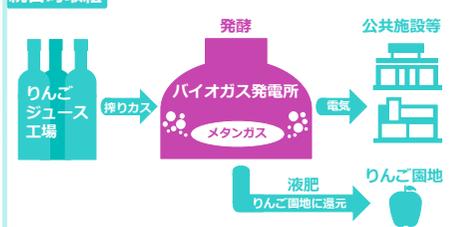
### 自治体SDGsモデル事業【環境面の取組】

統合的取組



「無煙炭化器」の導入

統合的取組



搾りカスを原料としたバイオガス発電

着色不良・着色遅延



温暖化に対応した生産技術の研究



剪定枝を原料とした商品開発

### 効果

環境

バイオガス発電等の導入を進め、環境負荷を低減します。

無煙炭化器の活用数	0件(未実施) → 18件
バイオガス発電導入に向けた地公体実行計画策定	0件(未策定) → 1件(策定) (2023年2月) (2025年)

### 三側面をつなぐ相乗効果

経済

官民連携で環境負荷の低減を進めます。

行政、生産者、研究機関等との連携事業数	15件 → 19件 (2023年2月) (2025年)
---------------------	--------------------------------

社会

作業改善に取り組む生産者を増やします。

農業塾に参加し作業改善に取り組む生産者数	0人(未実施) → 60人 (2023年2月) (2025年)
----------------------	------------------------------------

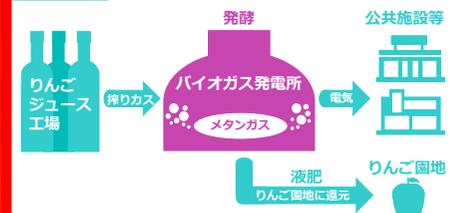
Point

りんご産業を起点とした脱炭素社会の構築と気候変動に対応した生産技術の確立を目指します。

## 自治体SDGsモデル事業【環境面の取組】

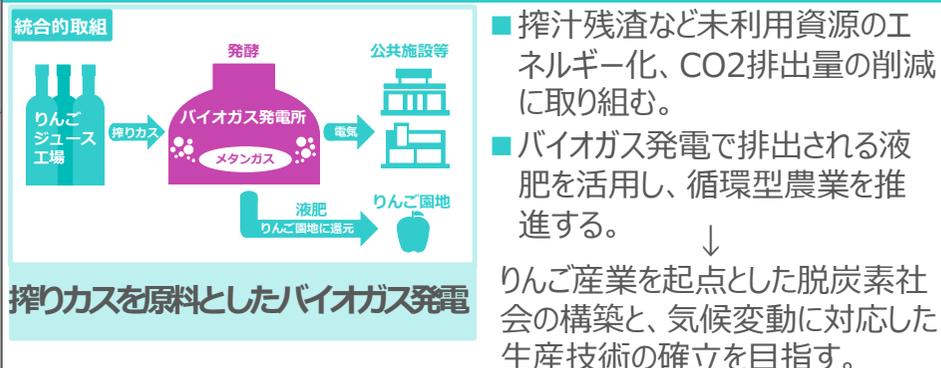


統合的取組



搾りカスを原料としたバイオガス発電

## 自治体SDGsモデル事業【環境面の取組結果（一例）】



## 【R5実施内容と結果】

- ・バイオガス発電の実現可能性を探るため、原料となる搾汁残渣の発生時期や発生量などの調査を実施。
- ・りんご搾汁残渣は、食品残渣の約1/2程度バイオガスを発生させるポテンシャルがあることが分かった。
- ・各種イベントで、パネル展示や液肥サンプルを配布し、バイオガス発電をPR。
- ・無煙炭化器実演会を実施したほか、市内農協と連携して、生産者に対して貸出事業を実施。（活用件数18件）

## 三側面の指標 初年度実績【環境面】

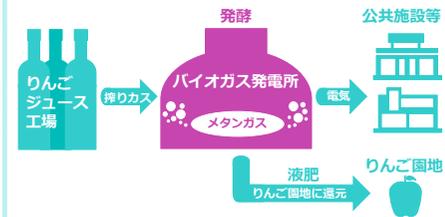
### 自治体SDGsモデル事業【環境面の取組】

統合的取組



「無煙炭化器」の導入

統合的取組



搾りカスを原料としたバイオガス発電

着色不良・着色遅延



温暖化に対応した生産技術の研究



剪定枝を原料とした商品開発

### 効果

環境	<b>バイオガス発電等の導入を進め 環境負荷を低減します。</b>		
	無煙炭化器の活用数	0件 → <b>18件</b> → 件 → 18件	
	バイオガス発電導入に向けた地公体実行計画策定	0件 → <b>0件(未策定)</b> → 件 → 1件	(2023実績) (2024) (2025目標値)

### 三側面をつなぐ相乗効果

経済	<b>官民連携で環境負荷の低減を進めます。</b>		
	行政、生産者、研究機関等との連携事業数	15件 → <b>20件</b> → % → 19件	(2023実績) (2024) (2025目標値)
社会	<b>作業改善に取り組む生産者を増やします。</b>		
	農業塾に参加し作業改善に取り組む生産者数	0人 → <b>57人</b> → 人 → 60人	(2023実績) (2024) (2025目標値)

## SDGs普及啓発に向けた情報発信など【R5年度実施内容】

対象	主な取組の内容	担当
市民等	小・中学校で著名人によるSDGs特別授業を行うとともに、学んだ内容を活かした子どもたちによるSDGs啓発CMを制作し、県内で広く放映しました。	企画課
	SDGsの普及啓発を目的としたグッズ（りんご剪定枝を使った下敷き、たか丸くんSDGsバッジ、公用車用マグネット、周知ポスター等）を作成しました。	企画課
	教育現場でニーズが高まっているSDGs学習に関する教育旅行を誘致するため、新たに体験型SDGs教育プログラム（修学旅行、市内小・中学校向け体験学習等）を造成しました。	企画課 (観光課)
	JR東日本秋田支社弘前統括センターと連携し、弘前駅内「津軽ラウンジ」において、SDGs未来都市に関する取組のパネル展示を実施しました。	りんご課
	各種パンフレット、チラシ等への貢献するSDGsアイコンの表示、広報ひろさきへの掲載などSDGsに係る情報発信を積極的に行いました。	全庁
	各部等で策定・改訂する個別計画等に、貢献するSDGsアイコンの表示などSDGsの要素を反映しました。	
職員	市が率先してSDGsの取組を進めるため、部長級、課長級、各部総合計画担当者、若手職員希望者に研修等を実施し、SDGsに関する理解を深めました。	企画課 (人事課)

## 令和6年度の主な取組（新規事業）



### 環境にやさしい農業の推進

- ・環境にやさしい農業に対する生産者の意識醸成のため、水稻の有機栽培で活用されるスマート農業機械などの実演会を開催
- ・消費者向けのPR活動として、親子を対象とした有機栽培によるお米づくり体験会などを開催



### ゼロカーボンシティの実現

- ・温室効果ガスを削減するための地方公共団体実行計画 区域施策編を策定
- ・電気バスの導入を支援
- ・電気バスにラッピング広告を掲示し 市民・事業者向けに周知啓発



### 食品ロスの削減

- ・廃棄される前のお得な食品を購入できるようになる食品ロスマッチングサービスを導入
- ・事業系食品ロスの削減を図るため、食品関連事業者と市民をマッチングする仕組み

### Point

令和5年度の継続事業に加え、**脱炭素社会の実現に資する取組**など新たな事業も展開します。

## SDGs普及啓発に向けた情報発信など【R6年度の主な実施内容】

対象	主な取組の内容	担当
市民、 民間事業者等	高校生・大学生がまちに出て、身近な街の問題点とSDGsとの関連について考察するなど、楽しみながらSDGsの理解を深めます。	企画課
	地元アイドルの楽曲を「 <b>りんごのまち弘前SDGs応援ソング</b> 」に認定し、小・中学校等でのSDGs特別授業をはじめ、SDGs関連事業での <b>情報発信を強化</b> します。 <b>SDGs特別授業は対象校を拡大し、成果発表会で各校の事例発表</b> を行います。	企画課
	<b>民間事業者等が実践するSDGsの取組</b> について、SDGs特別授業 <b>成果発表会で事例発表</b> し、訪れた市民や民間事業者への普及啓発を行います。このほか、庁内窓口のモニターや市民ギャラリーでの展示などを通じてPRします。	企画課
	たか丸くんSDGsバッジ着用、各種パンフレットやチラシ等への貢献するSDGsアイコンの表示、市ホームページへの掲載など、情報発信を積極的に行います。	全庁
	各部等で策定・改訂する個別計画等に、貢献するSDGsアイコンの表示などSDGsの要素を反映します。	
職員	<b>総合計画の評価作業に、SDGsの視点を取り入れます。</b>	企画課
	各部総合計画担当者及び希望者への研修を実施します。総合計画担当者は <b>応用編の研修を受講し、SDGsの考え方を総合計画の各施策に積極的に反映</b> します。	企画課 (人事課)